



「よりよい人間関係や生活をつくり、 自己のよさを生かす特別活動」

会長 岡野 範嗣 (大田区立入新井第五小学校長)

昨年度、新たな研究主題に改め研究をスタートさせましたが、新型コロナウイルスの蔓延に伴い、検証授業を中心とした追究活動を行うことは状況的に許されませんでした。それでも、各研究部会の意欲は高く、リモートコンテンツや様々な連絡手段を活用し、過去数年の振り返りや今後の研究に繋がる検討を重ね、昨年度末2月16日(火)には、前会長校のある小平市福祉会館市民ホールにて研究発表をすることができました。人数を限定しての開催でしたが、コロナ禍においても実施可能な取り組みを工夫し、特別活動における資質・能力の育成について歩を進められたのは成果であると考えています。

今年度の研究については、感染状況にもよりますが、検証授業を中心とした事前・事後の研究を充実させ、研究の視点である「みんなとともに生きていく力を育てる指導の工夫(人間関係形成)」「よりよい集団をつくらうとする力を育てる指導の工夫(社会参画)」「なりたい自分に向けてがんばる力を育てる指導の工夫(自己実現)」について、東京都の特別活動を推進する立場と責任を自覚し、さらに一歩進んだ提案ができるよう取り組んで参ります。今年度もどうぞよろしくお願いたします。

○研究発表会 ※関東地区特別活動研究会と共催予定

- ・期 日 令和4年2月25日(金)
- ・場 所 大田区立入新井第五小学校 体育館
(京浜急行 平和島駅下車 5分)
- ・内 容 今年度の研究についての発表
講演 文部科学省初等中等教育局教育課程課
教科調査官 安部 恭子 先生

今年度も都小特活ではホームページの充実を進めています。研究授業などの急な変更もお知らせしていますので、参加の前にぜひご確認ください。

都小特活 検索

都小特活

第109号

東京都小学校特別活動研究会

令和3年9月発行

発行人 岡野 範嗣

令和3年度 研究の基調

研究部長 篠遠 信行 (文京区立青柳小学校長)

1 研究主題

よりよい人間関係や生活をつくり、自己のよさを生かす特別活動

2 主題設定の背景及び理由

本研究会では、特別活動において育成を目指す資質・能力における三つの重要な要素として、「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」を研究主題として取り組んできた。

平成25年度から「人間関係形成」、平成28年度から「社会参画」、令和元年度から「自己実現」を研究主題として研究活動を行った。令和元年度から令和2年度にかけて研究主題を修正しているが「自己実現」の研究の背景及び設定理由は変わらない。

令和元年度からは、特別活動で育成を目指す資質・能力の重要な視点である「自己実現」を「人間関係形成」「社会参画」と関連させながら学級活動・児童会活動・クラブ活動・学校行事において研究を深めることを目指している。

一昨年度からの新たな研究は5年間の研究とし、新学習指導要領が目指す特別活動における資質・能力を育成していきたいと考える。

学習指導要領の目標 (1) (2) (3)

特別活動における資質・能力を育成する

3つの視点

人間関係形成

◎人間関係をよりよいものへ形成する視点

- ・認め合う
- ・互いのよさを生かす

社会参画

◎集団や社会に参画し様々な問題を主体的に解決しようとする視点

- ・よりよい学級・学校生活づくり

自己実現

◎集団の中で、現在及び将来の自己の生活の課題を発見しよりよく改善しようとする視点

- ・自己のよさや可能性を生かす
- ・自己の在り方や生き方を考え設計する

3 研究計画

令和元年度…仮説に基づく授業実践

- ・各活動、学校行事における「自己実現」を明確にし、共通理解を図る。
- ・各活動、学校行事における学習過程(課題解決)を構築する。

令和2年度…理論構築

1年目の研究を踏まえ3つの視点を関連付け育成する資質・能力について共通理解を図る。

令和3年度…理論・仮説の検証

実践を裏付ける理論の検証のための授業実践

令和4年度…理論・仮説の検証

令和5年度…汎用性・再現性のある提案

学級活動部

部長 高橋 美衣 (中央区立月島第二小学校)

◎ 活動部主題 ◎

「よりよい人間関係や生活をつくり、 自己のよさを生かす学級活動」

1 主題設定の理由

新学習指導要領には、「学級生活の充実と向上を目指し、他者と協力したり、個人として努力したりしながら、自主的・実践的に取り組むことにより、活動することの楽しさや成就感・達成感を得たり、自己有用感を高めたりすることにつながる。」とある。昨年度より全教科で全面实施となった新学習指導要領の改訂では、特別活動がこれまで教育課程上果たしてきた役割を踏まえて、「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」の3つを視点としつつ、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」の3点の柱に沿って、資質・能力が整理されている。

本研究会の主題である「よりよい人間関係や生活をつくり、自己のよさを生かす特別活動」を受け、学級活動部では、「自己のよさを生かす」とは、自分の興味のあることや自信のあることが分かること、自分の興味があることや自信のあることを行い、友達や学級に貢献すること、また、自分の思いや願いを叶えられること、学級の中に自分の居場所や役割があることと捉えた。

学級活動においては、学級という集団の中で、様々な問題を自分たちで見付け、解決方法について話し合い、合意形成を図る。そして、合意形成したことをもとに実践し、解決につなげていく中で、自他のよさや可能性を広げたり、活動することへの達成感や充実感を得たり、自己有用感を感じたりすることができる。

そして、その経験の積み重ねが生涯にわたって、集団や社会の一員として、また社会の形成者として、たくましく生き抜く資質や能力へとつながる。

主題を設定して2年目となる今年度は、学級活動における「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」を捉え直し、本時の活動(解決方法の話し合い・解決方法の決定)における児童の言動を具体的に価値付けていくとともに、また、評価規準を見直し、指導の充実や指導と評価の一体化を図っていく。

2 研究の視点

- 視点① みんなとともに生きていく力を育てる指導の工夫(人間関係形成)
- 視点② よりよい集団をつくらうとする力を育てる指導の工夫(社会参画)
- 視点③ なりたい自分に向けてがんばる力を育てる指導の工夫(自己実現)

3 検証授業の予定

- 10月 28日(木) 中央区立月島第二小学校
学級活動(1) 高橋 美衣 主幹教諭(4年)
- 12月 2日(木) 足立区立千寿第八小学校
学級活動(1) 大野 和代 指導教諭(3年)

児童会活動部

部長 畑 理恵 (葛飾区立南奥戸小学校)

◎ 活動部主題 ◎

「よりよい人間関係や生活をつくり、 自己のよさを生かす児童会活動」

1 主題設定の理由

全体研究主題「よりよい人間関係や生活をつくり自己のよさを生かす特別活動」を受け、児童会活動部では「児童会活動における『人間関係形成』『社会参画(自己有用感)』『自己実現』とは何かを考えた。そこで、本部会では以下のように定義した。

人間関係形成

よりよい人間関係を築くために、児童会活動では「上級生は下級生に対して思いやりの気持ちをもって接し、下級生は上級生にあこがれの気持ちを抱いて協力できる」ような、異年齢集団活動を通して、他の学年との人間関係を豊かに形成する力を付けることが必要であると考えた。このことは、児童の発意・発想を生かした活動に参画していくことで身に付けていくことができる。

社会参画(自己有用感)

「『自分は必要とされている』『自分は役に立っている』と思える感情」と定義し、それは他者に認められてはじめて得られるものであると考えた。このことは、上述の「人間関係」を豊かにすることと関連が深い。

自己実現

「異年齢交流活動の中で、『自分のなりたい姿』を目指して、全校のみんなのために、その活動の目的や意義を達成していくこと」と捉えた。このことは、上述の「社会参画」していく活動を通して、実現していくものと考えた。

本主題を設定して2年目となる今年度は、令和2年度に振り返った児童会活動における「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」を意識して指導し、目指す児童像の達成を目指す。また、評価規準を見直し、指導の充実や、指導と評価の一体化を図っていく。

また、年度当初のオリエンテーション等を通して、以下のことに留意することとした。

- 「児童の発意・発想を生かした活動」の場を保障する。
- 「課題の発見」から「振り返り」までの活動を一連の活動(学習過程)としてとらえる。
- 児童会の特質である「異年齢の人間関係」に焦点を当てる。

2 研究の視点

- 視点① みんなとともに生きていく力を育てる指導の工夫(人間関係形成)
- 視点② よりよい集団をつくらうとする力を育てる指導の工夫(社会参画)
- 視点③ なりたい自分に向けてがんばる力を育てる指導の工夫(自己実現)

3 検証授業の予定

- 11月 16日(火) 世田谷区立松原小学校
代表委員会 関田 祐子 主任教諭
- 12月 7日(火) 葛飾区立金町小学校
代表委員会 秋本 麻美 主任教諭

クラブ活動部

部長 矢部 聡 (世田谷区立尾山台小学校)

◎ 活動部主題 ◎

「よりよい人間関係や生活をつくり、
自己のよさを生かすクラブ活動」

1 主題設定の理由

クラブ活動は、異年齢集団活動の楽しさを味わい、自分たちの手で活動を作り出すための方法の理解、人間関係をよりよく構築していくための相手を意識した思考力、多様な仲間の個性を受け入れ助け合ったり協力し合ったりして、よりよい人間関係を築こうとする態度といった、資質・能力を育てることができる考える。

また、自他のよさや頑張りに気付く中で、異年齢の人間関係を育み、自分たちのクラブ活動をよりよくするための課題に気付き、その課題を解決しながら、自分のよさや可能性を将来にわたって追求しようとする態度を育む。これらの一連の活動の中では、自己肯定感や自己有用感の高まりが期待できる。

本主題を設定して1年目となった令和2年度は、クラブ活動における「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」を視点に、過去の研究の手だてを整理し、より効果的な指導に向けて指導の改善を図った。

「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」3つの視点で

指導の手だてを整理し、精査をしながら指導に当たることで、児童の言動や各種の記録物に、目指す児童像に近付くような変容が見られた。また、クラブで身に付けた力を学級で生かそうとする姿も見られ始めた。自己肯定感や自己有用感に高まりが見られたと考えられる。

本主題を設定して2年目となる今年度は、これまでの研究で積み重ねてきた、毎時間及び年間の活動がよりよく展開されるよう指導の充実を図ることで、令和2年度に捉え直したクラブ活動における「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」を意識して指導し、目指す児童像の達成を目指す。

2 研究の視点

- 視点① みんなとともに生きていく力を育てる指導の工夫 (人間関係形成)
- 視点② よりよい集団をつくろうとする力を育てる指導の工夫 (社会参画)
- 視点③ になりたい自分に向けてがんばる力を育てる指導の工夫 (自己実現)

3 検証授業の予定

- 11月19日(金) 目黒区立八雲小学校
(手芸クラブ) 梶井 綾 主任教諭
- 12月7日(火) 足立区立古千谷小学校
(紙飛行機クラブ) 大月 香織 教諭

学校行事部

部長 竹田 桃子 (練馬区立上石神井北小学校)

◎ 活動部主題 ◎

「よりよい人間関係や生活をつくり、
自己のよさを生かす学校行事」

1 主題設定の理由

学校行事には、みんなで力を合わせて、集団の力やよさをより高め、自分や集団の成長を実感できる場が多くある。それらを実現する児童の育成を目指すために、まずは児童が今の自分を理解することが大切である。学級や学年、学校という集団の中で今の自分にできることを考え、めあてをもって行事に取り組んでいく中で、自分の役割を果たしたり、よさを見付け合ったりして、新たな自分に気付き、新たな可能性を見出すことができる。一つの行事を通して得られる達成感や充実感によってさらなる高みを目指したいという自信や希望につなげることができる。

今年度は本研究主題での2年目である。これまでの研究で取り組んできた行事をつなぎ、身に付けた力を次の活動へとつなげていく過程を大切にしながら、「人間関係形成」

「社会参画」「自己実現」を相互に関連付けて実践し、学校行事で育成する資質・能力を明らかにしていく。

2 研究の視点

- 視点① みんなとともに生きていく力を育てる指導の工夫 (人間関係形成)
- 視点② よりよい集団をつくろうとする力を育てる指導の工夫 (社会参画)
- 視点③ になりたい自分に向けてがんばる力を育てる指導の工夫 (自己実現)

3 検証授業の予定

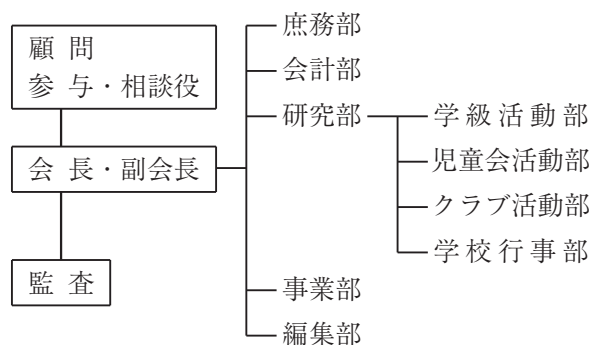
- 10月27日(水) 中央区立有馬小学校
学級活動(3) 移動教室事前指導 (6年)
上野 純 教諭
- 12月21日(火) 北区立西浮間小学校
学級活動(3) 学芸会事後指導 (1年)
檜山 真理子 主任教諭

令和3年度 役員・部員名簿

◎校長 ○副校長 ◇主幹教諭 ◆指導教諭 □主任教諭

役職名	氏名	地区・校名	役職名	氏名	地区・校名
会長	岡野 範嗣	◎大田・入新井第五	研究部 副部長	高橋 信行	□足立・千寿第八
副会長	今田 喜紀	◎板橋・志村第三	〃 部員	佐藤 真美	□小平・小平第十二
〃	篠遠 信行	◎文京・青柳	〃 〃	中嶋 規子	◆世田谷・経堂
〃	秋山 美栄子	◎目黒・下目黒	事業部 部長	出町 桜一郎	◎国分寺・第四
〃	石田 孝士	◎世田谷・芦花	〃 副部長	圓山 賢吾	◎目黒・鷹番
庶務部 部長	笹間 伸也	◎大田・羽田	〃 〃	齋藤 恵	◎港・赤坂
〃 副部長	中村 和弘	◎江東・豊洲	〃 〃	平松 隆行	○東村山・南台
〃 〃	細井 鏡子	◎大田・北糀谷	〃 〃	佐藤 千晴	○国分寺・第二
〃 〃	中野 浩一	◎町田・鶴川第一	〃 〃	角田 恒一	○東久留米・第九
〃 部員	吉田 和子	□江東・毛利	〃 部員	兼古 勇佑	□江東・有明西
〃 〃	鬼木 雅人	□東久留米・第二	〃 〃	高野 慶文	多摩・東落合
〃 〃	三浦 聡子	□東久留米・第二	〃 〃	佐藤 麻美	豊島・高松
〃 〃	長谷川 貴範	板橋・志村第三	〃 〃	梶井 綾	□目黒・八雲
会計部 部長	橋本 弥記	◎国分寺・第五	〃 〃	原田 恵子	□北・西浮間
〃 副部長	吉田 有子	○清瀬・清瀬第三	〃 〃	井村 絵里子	大田・入新井第五
〃 〃	小山 晴美	○練馬・立野	編集部 部長	浅野 正臣	◎調布・柏野
会計(学級活動)	奥山 優子	□中央・月島第三	〃 副部長	関 拓也	◎品川・延山
会計(児童会)	山野 奈央子	□世田谷・玉川	〃 〃	酒井 敬子	○世田谷・京西
会計(クラブ)	山口 哲郎	葛飾・本田	〃 部員	藤井 美貴子	□渋谷・上原
会計(学校行事)	檜山 真理子	□北・西浮間	〃 〃	伊勢 祐美子	□世田谷・太子堂
研究部 部長	篠遠 信行	◎文京・青柳	〃 〃	関田 裕子	□世田谷・松原
〃 副部長	田村 亜紀子	◎練馬・北町	〃 〃	酒井 博子	東久留米・第六
〃 〃	滝沢 正史	◎品川・第二延山	〃 〃	伊藤 祐紀	府中・若松
〃 〃	神谷 なおみ	○江戸川・南小岩	〃 〃	梶原 真唯	東久留米・第二
〃 〃	佐藤 美德	○府中・府中第二	学級活動部長	高橋 美衣	◇中央・月島第二
〃 〃	藤田 寛樹	◇文京・湯島	児童会活動部長	畑 理恵	□葛飾・南奥戸
〃 〃	大藏 久美	◆小平・小平第六	クラブ活動部長	矢部 聡	□世田谷・尾山台
〃 〃	渋井 洋子	◆東久留米・神宝	学校行事部長	竹田 桃子	練馬・上石神井北
〃 〃	大野 和代	◆足立・千寿第八	会計監査	清水 晶子	◎中央・有馬
〃 〃	宮内 有加	◆中央・明石	〃	赤羽根 智	◎東久留米・第二

[組織図]



編 集 後 記

会報109号をお届けします。
校務ご多用のところ、ご協力いただき
ありがとうございました。

(浅野、関、酒井(敬)、藤井、伊勢、関田、酒井(博)、伊藤、梶原)

